



第1回
*miniDSP*技術
セミナー

第1回 *miniDSP*技術セミナー アジェンダ

日時 2026年3月日13:00~18:00

時間	議題	担当者
14:00~14:10	開会あいさつ	
14:10~14:20	FIR DSPを販促する背景/セミナー講師のご紹介	IAP金文
14:20~15:10	miniDSP技術セミナー パート1	(株) J.TESORI栗山社長
15:10~15:20	休憩	
15:20~15:40	セミナー機材によるDiracLiveチューニングの実演	IAP金文/名陽電機(株)野林
15:40~16:30	miniDSP技術セミナー パート2	(株) J.TESORI栗山社長
16:30~16:50	質疑応答	
16:50	閉会あいさつ	
17:00~18:00	アンケート記入/デモカー試聴	IRDC(株)尾崎孝男/IAP金文

栗山譲二 プロフィール



1955年1月	福岡県に生まれる
1978年3月	九州芸術工科大学（2003年10月、九州大学と統合）音響設計学科卒業
1980年3月	九州芸術工科大学大学院 修士課程 情報伝達専攻修了
1980年4月 ～2001年3月	TOA株式会社にてプロフェッショナルデジタルオーディオ機器の研究開発に従事。 世界初の統合型サウンドデジタルプロセッサー「SAORI」開発（チーフエンジニア）。 デジタル音声卓「ixシリーズ」開発（プロジェクトマネージャ）。 ウィーン国立歌劇場・音響設備の全デジタル化、NHK音声卓のデジタル化を牽引。 業務用デジタル音響機器の開発を通じ、音響界におけるDSP（デジタル信号処理）技術の先駆的役割を果たす。
2001年4月 ～2008年3月	米国BOSE Corporationの日本法人であるボーズ株式会社にテクニカルアドバイザーとして移籍。 業務用DSP機器、コンシュマー向けスピーカーシステム等を開発。 技術開発業務に並行してマーケティング／営業等、販売面のマネージメントを兼務。
2008年4月 ～2010年3月	ボーズ株式会社代表を務める。
2010年6月	株式会社 J.TESORIを設立、代表取締役社長に就任。

■受賞

- 2002年 日本音響家協会賞

■参加団体

- 社団法人 日本音響学会

「テクノロジーの人間化」とは

私はつねづね、デジタルテクノロジーの恩恵について想いをめぐらせ、そして機会ある毎に「それはテクノロジーの人間化である」と考えてきた。アナログ処理ではエレクトリカルとメカニカル（電気と機械）の連携制御が不可欠だったのでに対し、デジタルではその種の制約を完全に取り払うことが可能になる。航空機がコンピュータ支援によるフライ・バイ・ワイヤ（舵面制御）で飛躍的な進化を遂げたように、音響機器もDSP技術の応用により、アナログ信号処理とはまったく次元の異なる自由度を手に入れることができる。劇場、放送局、録音スタジオ、そしてコンシュマー・オーディオのすべての分野で、デジタル技術は人間に、そして人間のもっとも崇高な表現形態である芸術に、純粹に奉仕することができる所以である。



ウィーン国立歌劇場の「屋根裏」に搬入されたフルデジタルコンソール「ix-9000」

J.TESORIが目指すもの

2010年、私はボーズ株式会社の代表職を辞し、新会社「J.TESORI」を立ち上げた。その目的は、これまでに経験した日本の技術開発と、米国流のマーケティングを昇華させ、さらにそのどちらの体制でもできない、新しいモノづくりの体制を生み出すことにある。エンジニアに必要な発想力、それを実現するためのチーム統率力、そして製品開発をマーケットにダイレクトに結びつけ、新たなニーズを喚起するマーケティング力。それらの、どの部分が欠けても、強いメッセージ性を持つプロダクトを生み出すことはできない。これが日本と欧州、そして米国のプロオーディオの最前線で製品開発とプロモーションに従事してきた、私の結論である。

J.TESORIが目指すもの、それは次の世代に伝える技術と、新たなモノづくり体制の確立である。